

夢じつぱりの世になりました。

不思議な世界にくぎづけ

▼アートスタート「びーかぶー」

3月7日、乳幼児のための芸術体験「びーかぶー」が、山村開発センターで上演され、約90人の親子が参加しました。

わらべうた遊びや歌、動物が登場するお芝居などの盛りだくさんの内容で、子どもたちは、目の前で繰り広げられる不思議な世界に驚いたり、歓声を上げたりしながら楽しんでいました。



日野町の小中一貫教育

小・中九年間を見通した子どももの学びと育ちを

教育目標

心豊かにたくましく羽ばたく

日野の子の育成

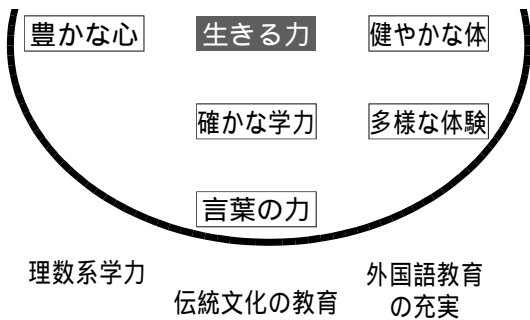
めざす子ども像

- ・ 確かな学力をつけた子ども（自ら学ぶ力）
- ・ 豊かな人間性を身につけた子ども（ともに生きる力）
- ・ 健康で元気な子ども（たくましく生きる力）

新しい学習指導要領により、小学校への英語活動の導入や、基礎的な知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力などの育成を重視する教育が始まります。

日野町では、平成21年度から、現状の学校規模のまま「小中一貫教育」が始まります。

新しい学習指導要領が目指すもの



教科の学習

学力調査結果の分析や、教員間の情報交換を通して、日野町の児童・生徒の学力実態を把握し、一貫した指導目標、指導方法により、学力の向上を図ります。

具体的な取り組み

ALT（外国語指導助手）との英語学習

平成21年4月から、外国の英語の先生と一緒に学習します。

配置は日野中学校ですが、木曜日には黒坂小学校に、金曜日には根雨小学校で授業を行います。

外国語を用いて、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図るようになる態度を

育てていきます。

また、中学校では、英語を読み書きすることに慣れ親しみ、学力向上にも役立てていきます。

小中交流学习

中学校と小学校の教員が一緒にあって、算数と外国語（英語）活動の授業をします。算数は、小学校6年を対象に、根雨小・黒坂小で行いま

す。

外国語（英語）活動は、小学校5・6年を対象に、ALT（外国語指導助手）と小学校の教員が一緒になって行います。

併せて、公開授業や授業研究会を行うほか、教務主任連絡会や、部会を随時行います。

ふるさと学習

社会科の授業で、町内の名所、史跡など、説明を聞きながら、各学年に応じた内容で町内を巡ります。

小学校児童交流

中学校の校舎で、根雨小・黒坂小の児童が共に学ぶ機会をつくりま



体験・交流活動

全国的に、学校、家庭、地域の努力にもかかわらず、「中一ギャップ」といわれる問題や、いじめ・不登校の急増などの問題が子どもたちの中に起こっています。

このような現状の問題点の解決のため、小学校の段階から、同年同士との交流を行うことにより、お互いの理解が深まり、中学校入学時の人間関係のギャップが少なくなると考えます。以前から日野町では、小学校4年生から6年生にかけて、計画的に根雨小と黒坂小の児童が交流し、共に活動する機会を設けてきました。そうした活動において、今後、より一層、中学校で共に生活する仲間としての人間関係づくりに努めていきたいと思っています。

また、中学校で同じ仲間として人権教育を進めるうえで基礎となる人権意識や感性、人間性の育成を、小中連携しながら計画・実践していくことを目指したいと思っています。

さらに、小学校と中学校のそれぞれの教員が、児童・生徒理解などについての情報や意見の交換をすることにより、よりきめ細かな子どもへの支援が可能になると考えています。

具体的な取り組み

- 4月 6年生合同での修学旅行
- 6月 4年生合同での力又教室
- 9月 5年生合同での林間学校
- 10月 6年生対象の、中学校入学体験教室
- 11月 4年生合同でのシイタケ植菌体験



11月 解放文化祭の見学で、6年生合同での交流学習

魅力ある学校づくり(根雨小「金管バンド、黒坂小「傘踊り、日野中「吹奏楽」事業の地域への参加
日野高校との農作業体験を通じた交流会

年間 保育所、小・中・高校の教職員による情報交換会、授業公開、研修会

家庭・学校生活

児童・生徒の生活習慣の課題に小中一貫で取り組みます。特に、家庭学習と携帯電話についてのアンケート調査を基に、課題に迫ります。小学校・中学校それぞれの課題、共通の課題を知り、小中一貫で取り組む課題を考えていきます。

具体的な取り組み

家庭学習の手引きを作成

家庭学習のアンケートを基に、家庭学習の手引きを作成します。

さらに、家庭学習調査を行って、家庭に情報提供すると共に、連携を図ります。

携帯電話の状況を把握

携帯電話について、アンケート結果を分析し、家庭に情報提供すると共に、保護者への啓発を行います。

ノーテレビデーの取り組み

「ノーテレビデー」の日を設け、「はやね・はやおき・朝ごはん」「メディアと上手に付き合おう」をテーマに、取り組みを進めていきます。

学校・家庭など連携を

基本的な生活習慣や、健康・体力などの、児童・生徒の課題について把握し、学校・家庭・地域が連携して、心身ともに健全な子どもの育成を図ります。

学校や子ども様子は、これからも紹介していきます。小中一貫教育には、家庭と地域の理解と協力が必要です。日野町の教育に、温かいご支援をお願いします。

問合せ 町教育委員会事務局(電話72 2107)

災害予防、

情報収集に活用

町消防団へ防災広報車を贈呈

(財)日本消防協会が、消防用資材の交付などのために行っている、防火防災共済還元事業の一つとして、日野町消防団(宮脇光男団長)へ防災広報車が贈られました。

2月25日に町役場前で行われた引渡式では、景山享弘町長が、「昨年は全国消防操法大会へ出場するなど、日ごろの努力が実った。災害のないまちづく



防災の誓い新たに

車体にスピーカーを内蔵し、皆さんへ防火を呼びかけます



りのため、さらに精進をお願いしたい」とあいさつしました。
また、宮脇団長が、「これで防火啓発や後方支援など、より充実した消防活動ができる。安全・安心なまちづくりに一層励みたい」と話し、車両が引き渡されました。
贈られた車両は、火災予防の広報活動や、災害時の情報収集など、よりきめ細かい消防活動に利用されます。

まちの介護予防だより 連載

役場健康福祉課 (電話 72 0334)

カラダとココロの

介護予防

「食べること」を大切にしましょう

介護予防と栄養改善

たんぱく質とエネルギーが不足した低栄養状態は、筋力や骨量を低下させるだけでなく、閉じこもりやうつ、認知症の要因にもなります。

要介護状態になる主要な原因である、高齢による衰弱や骨折、転倒などは、低栄養状態と深く関わっています。

1日3食をおいしく・楽しく・バランスよく食べることが介護予防につながります。

低栄養状態になりやすい理由

身体的な理由「かむ力、飲み込む力の低下、手や足の機能低下、病气やけが」

社会的な理由「ひとり暮らしで料理をしない、人と一緒に食べる機会が少ない」

精神的な理由「うつ状態で食欲がない」

今日からはじめましょう
三食バランスよく、主食、

「茶碗に大皿、小皿に小鉢」という言葉があります。主菜の

魚や肉、卵や大豆製品などを。小皿や小鉢には野菜料理

などを。積極的に生活して食欲を増進させましょう

運動や趣味、社会参加など、活動的な生活を送ることに

い。

町では、生活機能の低下がみられる人に対して、筋力向上・栄養改善・口腔機能向上の介護予防事業を行っています。

何か気になることがありましたら、お気軽に日野町地域包括支援センター(電話721852)までご相談ください。

り食欲が増進し、生活機能も向上します。
家族や友人との会食の機会を増やしましょう
人と一緒に楽しく食事をすると自然に食欲がわき、いろいろな栄養をバランスよくとれるようになります。
1日1.5リットルを目安に水分をとりましょう
脱水症は、心筋梗塞や脳卒中の原因になります。こまめに水分をとりましょう。

まちの話題

笑いは人生の宝

桂小文吾落語ライブ

2月15日、ホールと共に歩む会(木島泰代表)主催のサロンコンサート「桂小文吾落語ライブ」が、町文化センターホワイエで開かれ、約60人が参加しました。

桂小文吾さん(米子市在住)は京都出身。落語会やテレビ番組など、山陰を中心に活躍しています。

小文吾さんは、「笑いは人生の宝。笑うことでストレスが解消でき健康になる。笑顔のコミュニケーションでまちづくりをしてほしい」と話しました。

また、小話や創作落語「日野川のカツパ捕り」などを披露、客席からは大きな笑い声が響き渡りました。



俳優としても活躍していた小文吾さん

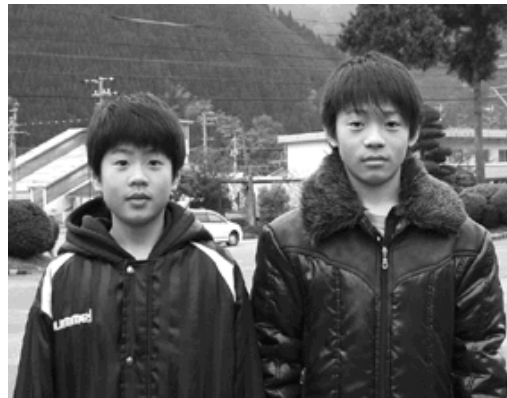
あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで(電話7210332)

全力の滑りを誓う

スキー全国大会に出場

3月20日、野沢温泉スキー場(長野県)で開かれる、ATOMICジュニアACUP本州決勝大会に、鳥取県代表として、根雨小学校6年の多賀駿平さん(根雨)と、長谷川智哉さん(三土)が、男子大回転の部に出場することにになりました。

二人がこの大会に出場するのは初めてのこと。多賀さんは、「3歳からスキーを始めました。大会では精いっぱい頑張りたい」と話し、長谷川さんは、「大会は楽しみ。全力で滑りきりたい」と抱負を語りました。



左から長谷川さん、多賀さん

熟練の技で生まれ変わる

本陣の門 屋根葺き替え

かつての宿場町、根雨宿の面影を残す、本陣の門(根雨)の屋根の葺き替えが、1月末から2月初めにかけて行われました。

本陣の門は、昭和45年に、本陣跡(旧根雨郵便局)から現在の場所に移設され、昭和54年に、町の有形文化財に指定されています。

門の屋根は、日本古来から伝わるこけら葺き。薄い木の板を何枚も重ねていく方法で、高い技術が必要で。

今回は、遠藤工務店(根雨)が施工し、宮大工の熟練の腕により、12年ぶりの葺き替えが見事に完成しました。



板の厚さは約2~3ミリと、板葺きの中でも一番薄い

スポーツ活動に貢献

日本海新聞スポーツ大賞

昨年、スポーツで優秀な成績を収めた人を表彰する、「第10回日本海新聞スポーツ大賞」の表彰式が、3月6日、町役場で開かれました。

今回は、最優秀賞に、西村渚さん(福長)と小谷真由さん(津地)が、奨励賞には、柴田税さん(根雨)が選ばれました。

西村さんと小谷さんは、中国地区小学生ソフトテニス選手権で、県代表として団体戦で優勝するなど、各種大会で輝かしい成績を収めた実績が評価されたものです。

また、柴田さんは、冬季国体のパイアスロン競技に10回にわたって出場し、リレーメンバーとしてすべて入賞を果たしたことなどが評価され、今回の受賞となりました。

表彰式では、景山町長から、賞状と記念品が贈られました。



左から、柴田さん、西村さん、小谷さん

犬の登録・狂犬病予防注射

狂犬病予防のため、必ず注射を受けさせましょう

狂犬病は、犬にかまれた傷から感染し、発病すれば、ほぼ100%死亡する病気です。最近では平成18年に日本人旅行者が海外で犬にかまれ、帰国後発病して死亡した事例があります。犬を飼っている人は、狂犬病のことを十分認識し、年1回の予防注射を必ず受けさせるようにしてください。

平成21年度の集合注射を左記の日程で行います。集合注射ができない場合は、動物病院で注射を受けてください。

また、生後90日以上の犬を新たに飼い始めたときや、飼い主を変更したとき、犬が死亡したときなどは、必ず役場まで届け出てください。

実施日	時間	場所
4月 13日(月)	13:15 ~ 13:30	舟場コミュニティセンター前
	13:40 ~ 13:50	高尾公会堂前
	14:00 ~ 14:10	金持公民館前
	14:20 ~ 14:30	板井原公民館前
	14:50 ~ 14:55	真住公民館
4月 14日(火)	13:10 ~ 13:30	野田みちくさの館前
	13:40 ~ 13:50	津地自治会館前
	14:00 ~ 14:10	老人憩の家前(下樓)
	14:20 ~ 14:30	上本郷公会堂前
	14:40 ~ 14:50	奥渡公民館前
	15:10 ~ 15:30	山村開発センター前
4月 15日(水)	13:20 ~ 13:30	久住集会所前
	13:50 ~ 14:00	小河内バス停前
	14:10 ~ 14:20	上菅駅前
	14:30 ~ 14:50	町公民館前(黒坂)
6月 10日(水) ※補足日	14:00 ~ 14:20	山村開発センター前

注射には、犬を固定できる人が連れてきてください
接種不可能と判断した場合は、「予防注射見合わせ証」を発行します。後日かかりつけの動物病院で接種してください
雨天での接種は、犬が体調を崩す場合があります。雨天の場合は、別の日または動物病院での接種をおすすめします
動物病院で個別注射をした場合も役場に届け出てください

料金

新規登録の人	5,950円	(登録料・注射済証交付料・注射料)
登録済の人	2,950円	(注射済証交付料・注射料)
犬マーク	80円	(希望者のみ)

問合せ 役場健康福祉課(電話 72 0334)



ペットはマナーを守って飼いましょう

最近、ペットを飼う人が増えています。
ペットはかけがえのない命を持った動物です。
飼い主が愛情と責任を持って飼い、
周りの人たちも動物に親しめる環境をつくりましょう。

放し飼いはやめましょう

犬の放し飼いは、思わぬ事故の原因になります。
散歩中も、飼い主が必ずロープなどでつないでおくようにしましょう

排せつ物は持ち帰る

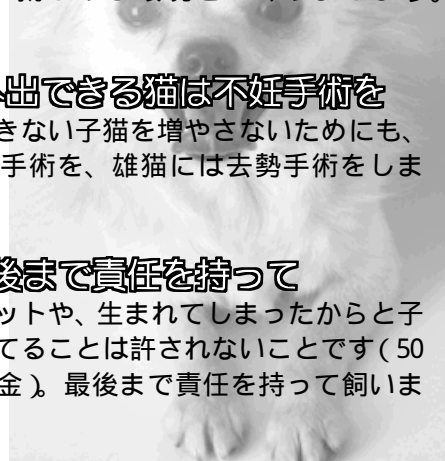
散歩中の排せつ物はきちんと持ち帰りましょう。
ビニール袋や小さいシャベルなどがあれば便利です

自由に外出できる猫は不妊手術を

飼うことができない子猫を増やさないためにも、
雌猫には避妊手術を、雄猫には去勢手術をしましょう

最後まで責任を持って

飼っているペットや、生まれてしまったからと子
犬や子猫を捨てることは許されないことです(50
万円以下の罰金)。最後まで責任を持って飼いま
しょう



力になりまっせ！ 鳥取県関西本部です

鳥取県関西本部をご存じですか？
「行きたい鳥取！住みたい鳥取！
帰りたい鳥取！」をキャッチフレーズに、
当本部が皆さんの力になります。
進学、就職、転勤など、
この春から関西に引越される人、
すでに関西にお住まいの人にも
ぜひお知らせください。



私たちがお待ちしております

【関西本部の主な業務】

関西圏の企業や市場などに対して、次のような取り組みを行っています

観光・情報発信	マスコミやメールマガジン、ホームページを使って、 関西の人に情報発信を行っています。また、観光展など のいろいろなイベントも行っています。
企業情報	鳥取県内に関西の企業を誘致するため、県内工業用 地のあっせん、各種情報などを提供しています。
UJIターン情報の提供	UJIターンを希望する人には、アドバイザーが企業 や生活関連についての情報提供、相談を行っています。
県内製品の売り込み	販路開拓の専門職員が、関西への鳥取県内の産品売 込みを行います。

【交流室のご案内】

鳥取県関西本部では、会議
や催しに無料で利用できる交
流室を設置しています。
大阪で催しを企画される際
はぜひ活用ください。もちろ
ん、土日も利用できます。

【メールマガジン】

鳥取県関西本部のメールマ
ガジンを配信中です。毎週、
鳥取県の情報満載でお届けし
ています。
配信登録は、関西本部の
メールアドレスへ、「配信希
望」と記入したメールを送っ
てください。

【県人会・同窓会】

関西にお住まいの人は、せ
ひ県人会・高校同窓会に入会
をしてください。
鳥取県にゆかりのある人、
鳥取県を応援して下さる皆
さんの入会をお待ちしていま

す。

【問合せ】

鳥取県関西本部
〒530 0001
大阪市北区梅田1 1 3
2200
大阪駅前第3ビル22階

(電話) 06 6341 395
5、FAX 06 6341 395
972)

Eメールアドレス
kansai@pref.tottori.jp

平成20年4月から、鳥取県
大阪事務所から鳥取県関西本
部へと名称変更しました。

東京、名古屋の鳥取県事務所もよろしく

鳥取県東京本部

〒102 0093 東京都千代田区平河町2 6 3

都道府県会館10階(電話 03-5212-9077)

Eメールアドレス tokyo@pref.tottori.jp

鳥取県名古屋本部

〒460 0008 名古屋市中区栄4 1 1

中日ビル4階(電話 052 262 5411)

Eメールアドレス nagoyajimusho@pref.tottori.jp

土地価格等・家屋価格等
縦覧簿の縦覧と
固定資産課税台帳の閲覧

土地価格等・家屋価格等縦
覧簿の縦覧

期間 4月1日～6月1日
時間 平日の午前8時30分～
午後5時15分まで

場所 役場住民課
閲覧できる人 土地、家屋の
納税義務者

固定資産課税台帳の閲覧
期間 4月1日から、平日の
午前8時30分～午後5時15分
まで

場所 役場住民課

閲覧できる人 固定資産税の
納税義務者(本人の台帳閲覧)、
借地人、借家人(借りている
物件の台帳閲覧)
問合せ 役場住民課(電話72
0333)

とっとり就職応援面接会

平成21年3月に高校、大学
などを卒業する人や、一般の
求職者を対象に、参加企業が
業務説明や予備面接などを行
う、就職応援面接会を行います。
(参加無料、履歴書不要、
予約不要)

日時・場所 米子会場〓米
子コンベンションセンター
【3月25日(水)午後1時30
分～午後3時30分】

倉吉会場〓倉吉未来中心
【3月27日(金)午後1時30
分～午後3時30分】

参加企業 鳥取県ホームペ
ジ (<http://www.pref.tottori-t.lg.jp/koyoukakuho>)に掲
載予定

問合せ 鳥取労働局職業安定
部職業安定課(電話0857
29 1707)

根雨SCがフットサルで準優勝

2月11日、中山小学校で開
かれた、西伯郡サッカー協会
主催のフットサル大会に、日
野町の根雨SCサッカークラ
ブが出場し、ジュニアの部で
準優勝を果たしました。

出場選手(敬称略)〓写真前
列左から、宮本岳(日南町)、
国重知弘(根雨小)、小林弦生
(根雨小)、後列左から、藤原
知也(根雨小)、矢田貝洋平
(根雨小)、佐々木桐子(根雨
小)



1000万人のガンバリサポート スポーツ安全保険

スポーツ安全保険は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア活動などの団体を対象に、活動中の事故などを補償する制度で、現在1,000万人の加入実績があります。

加入内容、申し込みなど、詳しくは教育委員会までお問合せください。

現在加入受付中 保険期間：4月1日から1年間

問合せ：町教育委員会事務局(電話72 2107)

(財)スポーツ安全協会鳥取県支部(県体育協会内、電話0857 28 1288)

対象団体 (団体活動を行う5人以上で加入してください)	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険(保険金額)			
		死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)
子どもの団体(中学生以下)	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
大人の文化・ボランティア・地域活動(16歳以上)	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
大人のスポーツ活動(16歳以上)	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円
危険度の高いスポーツ活動	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円
賠償責任保険(免責金額なし)...身体・財物賠償合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円程度		共済見舞金...	突然死(急性心不全、脳内出血など) 180万円		

人権のまち ひの

2009年3月発行

にぎやかに交流した2日間 第31回日野町解放文化祭

昨年の12月6日、7日の2日間、町解放文化祭が、下榎隣保館・集会所と、老人憩の家で開かれました。
人権問題の解消と、地域の人たちとの交流を目指して開かれる解放文化祭も、今回で31回を迎えました。
1日目には、セルフひのの皆さんによる講演や寸劇、もちつき大会と日野中学校吹奏楽部の演奏会が行われ、2日目にはそばうち講習会や、恒例の演芸会が行われました。
また、手芸品や生け花、書道や絵などの作品展もあり、多くの人でにぎわいました。



名人にそばうちのコツを教わる



力作ぞろいの作品展



舟場昭和会による銭太鼓



保育所園児も作品展を見学



日野中学校吹奏楽部の迫力ある演奏

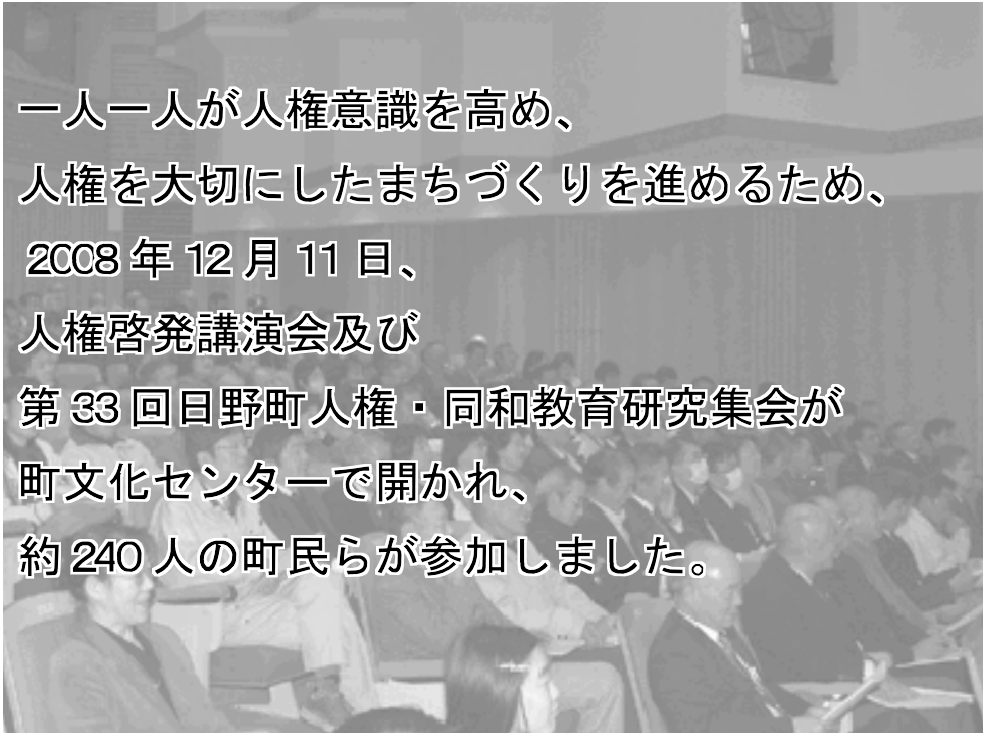


セルフひのの皆さんは、寸劇で施設をアピール

人権の種をまこう、育てよう

人権啓発講演会および町人権・同和教育研究集会

一人一人が人権意識を高め、
人権を大切にしたまちづくりを進めるため、
2008年12月11日、
人権啓発講演会及び
第33回日野町人権・同和教育研究集会が
町文化センターで開かれ、
約240人の町民らが参加しました。



実りある研究集会に

開会行事では、はじめに景山町長が主催者を代表してあいさつし、「国内では、毎日のように、人権を無視した事件が起こるなど、自己中心的な世の中になっている。人間らしい世の中を築くため、この集会が実りあるものになってほしい」と訴えました。

また、矢田貝勝実行委員長が、「研究集会が目指すもの」について説明しました。

研究集会が目指すもの
(要旨)

誰もが心豊かに、安心して暮らせる社会づくりのためには、すべての人の人権尊重が不可欠です。そのためには、一人一人が人権意識を高め、人権を重んじた地域づくりを目指して、日々の暮らしに生かしていく取り組みが求められます。

私たちは、昨年の第32回大

会で、さまざまな人権課題の中から、同和教育、高齢者、子ども、障がい者の人権問題を取り上げ、シンポジウムで問題解決のための研究を行いました。研究内容のうち、一人一人が行動を進めていく面の討議が深まりませんでした。

今回は、この反省に立ち、まちの重要課題である超高齢化社会の問題「高齢者の人権」をテーマに、高齢者が生きいきと、希望を持って暮らすことができる地域社会を目指して、どのように取り組むべきかを討議いただきたいと思えます。

このため、鳥取短期大学の山田修平学長を講師に迎え、「支えあうまちづくり、いきいき生きるまちづくり」と題して講演いただき、シンポジウムへ導入していきます。

シンポジウムでは、高齢者の生活実態を、家庭生活、地域生活、介護の3つの側面からとらえ、報告者から報告いただき、それを受けて、人権をキーワードに、具体的

な問題や課題を確認し、「高齢者の人権基準」と「大切にすべき視点」をさらに深めていただきます。

今回は、研究主題を前回と同じく、「あたたかい日野町、人権の種をまこう、育てよう」としました。この精神のもと、一人一人ができること、地域ぐるみや町民みんなで取り組むことなどの、人権尊重のまちづくりを目指した「行動化」への議論を深め、今日からの取り組みを、参加者全員で考えたいと思います。

この研究集会の課題や成果が、各地域での小地域座談会でさらに深く話し合われ、明日からの地域づくりにつながっていくこと、また、企業や団体、グループなどでさらに研修され、その成果を行動の一步につないでいくことも、研究集会の目的の一つです。

シンポジウムが、参加者の皆さんの、建設的で積極的な意見交換の場になり、より大きな成果が得られることを期待します。



人づくり・地域づくりのヒントに

今回の人権啓発講演会では、鳥取短期大学学長の山田修平さんを講師に迎え、人と人権のつながりから考えたまちづくりについての講演が行われました。

講演内容（要旨）

高齢化が進む現代では、高齢者を高齢者が介護する、「老老介護」の問題があるほか、さらに、認知症患者を高齢者が介護する「老認介護」、双方が認知症の「認認介護」が起きています。

これは当事者だけでなくみんなの問題。子育てにしても介護にしても、家庭の機能が非常に弱くなっていると感じます。人同士の生のつながりが薄くなる中、どうやって地

域づくりをしていけば良いのでしょうか。

家庭のあり方

安らぎの時間を提供する、これが家庭の原点。しかしそうした心遣いを忘れがちです。心遣いは、やはり会話から。また、それぞれが家庭の中で役割を持つこと。それで家庭のあり方も変わってきます。

地域の中で

人、自然、伝統、文化や産業など、複雑に絡みあつたものが地域。この地域を良くす

心の「コップ」、こころも上向きに

人権啓発講演会

「支えあうまちづくり、いきいき生きるまちづくり」

そのため、どんな小さなことでも、何げないことをみんなやってみてはどうでしょう。

たとえば、あいさつ。相手の名前を呼んでからあいさつしてみよう。また、みんながそれぞれ足元に落ちていく紙くずを拾ったりして、美しい地域づくりをしては、また、健康づくりにも取り組んでください。自分だけでなく、家族や他人の健康にも目配りしてみよう。

そして、地域の中で役割を持つてみましょう。ボランティアと大きなことを言わなくても、地域活動や老人会、PTAなど、ささやかな役割を持つことで世界が変わってきます。

人生を豊かに

ポイントは3つ。

- ① 傾聴：体全体を耳のようにして相手の話をよく聞く。まちづくりの第一歩は聞き上手になること
- ② 共感：同情ではなく、相手に寄り添い、同じように感じましょう
- ③ 受容：ありのままの自分を

受け入れる。相手を受け入れるには、まず相手を知ることでも、そのためには自分を知らしましょう

心のコップ

心の状態をコップに例えてみましょう。心のコップがいつも下向きだと、いくら叩いてもコップに水は入りません。コップを上向きにするには、相手を誉め、認めること。一見短所に見えることでも、長所はあると思います。

人は、自分のことを認めてくれる人の話はよく聞きます。お互いの心が上向きになるような関係を作りましょう。

最後にすてきな言葉を

ある人の講演会で、すてきな言葉に出会いました。

- ▽ 「ありがとう」：不幸なことがあったときも、ありがとうと言いましょ。不幸の連鎖を断ち切れます
- ▽ 「感謝しています」：きれいな言葉を話すと、それが心になり、行動になり、人格になります
- ▽ 「ツイている」：物事をプラスに考える。ピンチもチャンスになります

今日、皆さんの前で話ができたことはツイています。感謝しています。ありがとうございました。

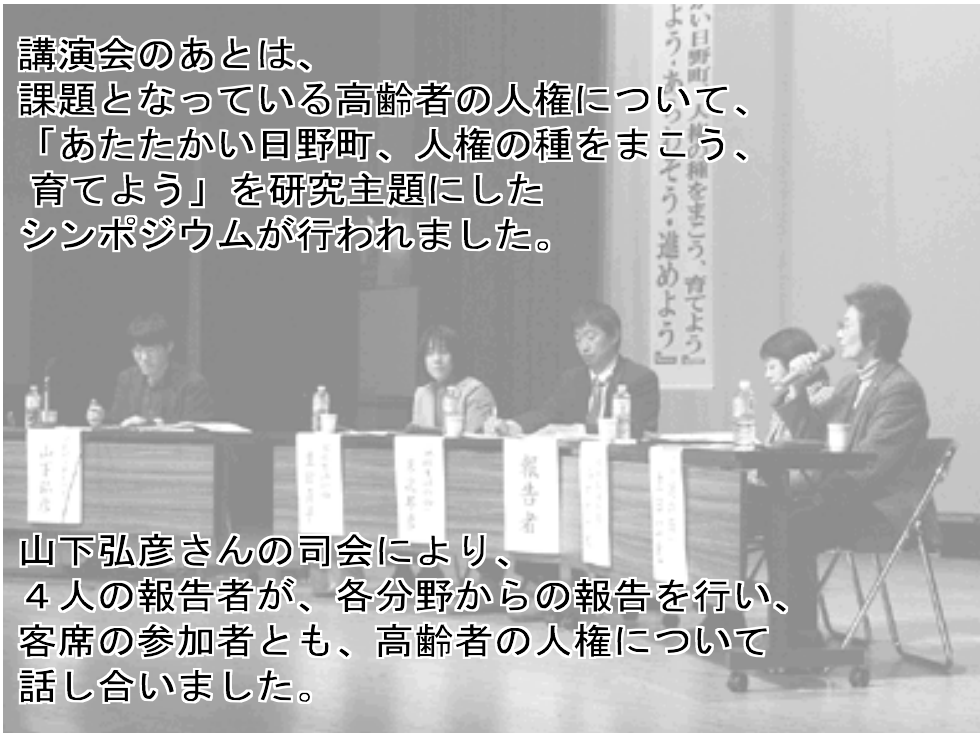


山田修平さん

1945年岐阜県生まれ、京都府育ち。
1979年、鳥取女子短期大学に着任。
2002年、鳥取短期大学学長就任。
現在、鳥取県教育委員会委員長も務める。
専門は労働経済、社会福祉と幅広く活躍。

地域で高齢者を支える 仕組みづくりを

第33回日野町人権・同和教育研究集会（シンポジウム）



講演会のあとは、
課題となっている高齢者の人権について、
「あたたかい日野町、人権の種をまこう、
育てよう」を研究主題にした
シンポジウムが行われました。

山下弘彦さんの司会により、
4人の報告者が、各分野からの報告を行い、
客席の参加者とも、高齢者の人権について
話し合いました。

高齢者を取り巻く状況を報告

山下 日野町の65歳以上の人口は約39%ときわめて高い。
高齢者のための国連原則は「自立・参加・ケア・自己実現・
尊厳」を実現させるためにはどうすればいいのか。4人の皆さ
んから、各分野の現状・課題を報告いただきましたと思います。

地域生活の面から

末次 黒坂小学校では、主に
訪問活動と、地域の皆さんと
のふれあい活動を行っています。
5・6年生を中心に町内
の施設へ訪問しています。初
めは不安がっていました。も
も、実際に行ってみると温か
く迎えていただいたり、歌や
笛の演奏に拍手をいただき、
意欲が高まっています。
地域の人たちとのふれあい

活動では、生け花や、昔の遊
びなどを教えてもらい、高齢
者を尊敬し、癒されているよ
うです。こうした活動が、日
常的な高齢者とのつながりに
なればと思っています。

家庭生活の面から

生田直子 家庭生活の面から、
認知症について考えてみま
した。
町内の介護認定者のうち、

報告者

末次 邦彦さん
(黒坂小学校教諭)



コーディネーター
山下 弘彦さん
(日野ボランティア・
ネットワーク事務局)

認知症にかかっている人は1
67人で、約6割。認知症は、
高齢期にはありふれた病気で、
恥ずかしいことも、みっとも
ないこともないので、早めに
医師に相談してください。
認知症にかかっても、適切
なケアや工夫で、生活の不自
由や介護者の負担を軽くした
りすることができます。

認知症が進んでも、心は豊
かに生きており、その人の尊
厳を支える介護が大切です。
また、誤ったり間違ったり
する認知症患者を理詰めで説
得してもうまくいきません。
説得よりも、穏やかな対応を
優先してみましょう。こうし
たかわりが家庭からご近所
へ広がっていければ良いと思
います。

地域生活の面から

谷口 下棟の高齢者について
お話しします。下棟の高齢化
率は約31%。私が集落を回る
ときに心がけているのは、あ

いさつと声かけ。皆さんから聞く言葉は、「施設や病院はお金がかかり入りにくい」「家族に迷惑がかかる」というもので心が痛みます。
今年度、榎の美老人会が再設立され、生きいきと楽しい人生を送ることを願い、月に一度、子どもたちとの交流などを行っていきます。

介護の面から
生田公恵 老いは誰でも通る道と思ひ、日野郡内の老人保健施設などを見学してみました。

現場で介護しておられる人は、介護される人への禁句集や、施設の教訓10か条を守ったり、入室するときはノックをするなど、人権を第一に考えて取り組んでいるそうです。できれば自宅に帰れるようにしてあげたい」という介護士さんの本音も聞くことができました。
また、「野菜などを持って



報告者
生田 直子さん
(日野町地域包括支援センター)



報告者
生田 公恵さん
(日野町男女共同参画推進会議)

きていただけると助かります」とも。地元のボランティアや近所の人たちで少しでも手伝えればと思いました。
施設の皆さんには、地域にもっと開放したい、もっと地域の人に来てほしいとの、前向きな施設運営を感じました。
山下 皆さんの話をまとめると、地域の高齢化が進んで、高齢者を支えていくことが難しくなっている。そんな中、子どもたちや地域の人たちが高齢者と交流し、かわっていくことが大切だということですね。

会場の参加者から
山下 今度は、会場の皆さんから、地域の高齢者の人権課題についてお話を聞かせていただければと思います。

参加者 私に住んでいる自治会の高齢化率は、約6割。独居世帯も12あります。ぼくが教室や、病院の健康教室を開いても、集まるのは男性だけ。これからは、女性にも集まってもらえる機会を作ろうと、町社会福祉協議会が進めている「ふれあいサロン」に取り組み予定です。

参加者 ふれあいサロンには3つの目標があり、それは、地域に元気になってもらいたい、高齢者を一人にさせない、災害時に犠牲者を出さない、というものです。

田舎でも近所とのふれあいが少なくなっている中、人権問題も支え合い・助け合いが

大切。そんな地域になってほしいです。

参加者 介護保険の導入によって、むしろ地域での連携や支え合いが薄れているように感じます。

そんな中、日野郡内の一般事業者の中で、地域の高齢者に異状があれば行政に通報する取り組みが出てきています。このように、専門家だけでなく、地域全体で取り組む仕掛け作りが必要だと感じます。

参加者 春に日野町に転勤してきて感じたことは、子どもからお年寄りまで多くの人々が笑顔であいさつしてくれること。「ばんになりました」と、なじみやすくあいさつできることがうれしいです。

高齢化率を下げるには、若者を増やさなければいけません。日野町は、地域の魅力がうまく生かされていないように感じます。



報告者
谷口カナ枝さん
(日野町生活相談員)

まとめ

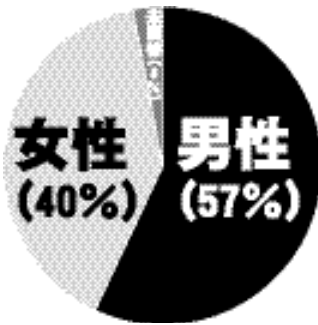
山下 今日の話の中で、勇気が出てくることがあったのではと思います。認知症になるのは恥ずかしいことでしょうか。これだけの高齢化率になれば、いずれ認知症になるのは当たり前かもしれません。ふだんから、「もし私がおかしな事を言い始めても、それも私だからよろしくね」など、少しでも言えるようにならないでしょうか。地域の課題を見過ごさないで、みんなで話し合っ、必要なことがあれば声を上げていくことが大事なのではと感じました。これを小地域座談会や自治会の場での話し合いにつなげていただければ、今日のこの時間が有意義になっていくと思います。

参加者アンケート集計結果

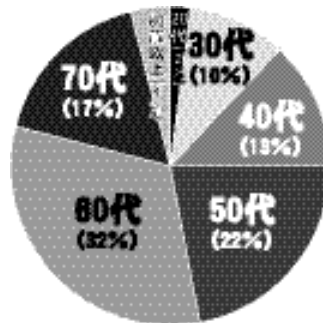
当日参加者数：242人

アンケート回答者数：93人

参加者の性別



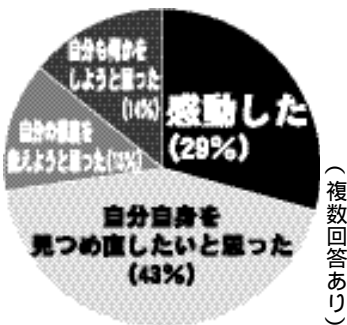
参加者の年齢



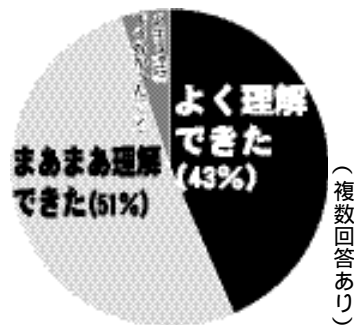
講演の内容について



講演の感想



シンポジウムの内容



シンポジウムの感想



その他の感想・意見など(主なもの)...久しぶりに、血や肉となるような講演を聴くことができた 意見は出たが、具体的にはどうするの? 分かりやすい講演会でした。シンポジウムも充実していたが、終了時間が遅いので、開会を早めるとかできなかったか シンポジウムが報告に終わったきらいがある。掘り下げて、どう取り組むのかの議論があっても良かったのではないかな。

優しい思いやりの心育てる 人権の花運動へ感謝状

今年度、根雨小学校と黒坂小学校では、パンジーやマリーゴールドなどの花の栽培を通して命の大切さなどを学ぶ、「人権の花運動」に取り組みました。

2月18日、この運動を主催する、鳥取地方法務局米子支局と米子人権擁護委員協議会から、各学校へ感謝状と記念品が贈られました。



根雨小では、児童代表の足羽秀吉さんが受け取りました

【人権の花運動】

花の種や球根などを、児童が協力しながら育てることを通して、協力・感謝することの大切さを学ぶとともに、優しい思いやりの心や人権思想を育てることを目的としたもので、昭和57年度から行われています。

町内では、昨年度に日野中学校と、根雨小学校、黒坂小学校が取り組みました。今年度は、根雨小と黒坂小が引き続き取り組みました。



「花のように学校を明るくしたい」とお礼を(黒坂小)

誰もが平等に学べる権利を

全国人権・同和教育研究大会 参加報告
根雨小学校教諭 砂流 誠吾

昨年の11月28日、29日の2日間、奈良市で開催された「第60回全国人権・同和教育研究大会」に参加しました。

開会全体会に引き続き、進路・学力保障分科会第一分散会に参加しました。

ここでは、「子どもたちの未来を拓く進路・学力保障をどうすすめているか」というテーマのもと、特に「すべての子どもたちが、学校や地域での活動を通して、反差別の価値観でつながりあい、仲間と共に自らの生活・進路をどう切り拓いているか明らかにしよう」という課題をメインとして討論が行われました。

この分科会では、2日間で6本のレポートがありました。その中で、熊本県津森小学校の山口さんが報告されたのは、「障がい」のあるももこさんが、特別支援学校ではなく地域の学校である津森小で学ぶということについてでした。

特別支援学校では、その子の「障がい」に応じた支援ができるように、物的、人的な体制が整っています。そして、

その子の「自立」に向けた教育課程が生まれ、支援が行われます。

しかし、特別支援学校に通うということは、その子自身が「自分の住んでいる自分の学校に通う」という「当たり前前」のことができないということになります。ややもすれば、「障がい」がある子は特別支援学校で学ぶということが、さも「当たり前前」であるかのように考えられがちです。

ももこさんのお母さんは、「何でそんなに津森小にやりたい？」と問われたことに疑問を持たれます。他の子は、そんなことは問われないのに、なぜももこさんだけが問われなければならないのかと。山口さんは、そのことを、学級の子どもたちに返して、そのこと自体が差別なのではないかと考えていかれました。

「障がい」のある子が、「自立」していくことはとても大切なことだと思えます。それが、自分の住んでいる地域で仲間と共にできるということが求められているのではない

かと思えます。「分けて育てる」のではなく、「共に育つ」という視点で、学校や社会のしくみを変えていくことが必要ではないかと感じました。

また、本大会で採択された大会宣言に、「しかしなお、今日も机にいないあの子たちがいる。大人たちの個別化する労働・生活の中で、現代の貧困があり、就学援助を必要とする子どもたちがいる。薄れていく地域のきずなの中で、

差別は歴史の「負の遺産」

全国解放保育研究会 参加報告
ひのつこ保育所保護者代表 藤原 康洋

昨年10月18〜20日の3日間、香川県高松市で行われた、「第31回全国解放保育研究会」の、18日の全体会と、19日の分科会に参加しました。

全体会では、「基調提案」として、今年の世界人権宣言の国連採択60周年にあたる年とということから始まり、保育をとりまく環境ということで、「出生率の高い他の国と比べて、明らかに育児休業、保育所の整備など、子育てを支援する制度や施設の整備が充実していないこと、政府が進めている「保育の市場化」による弊害、などの課題や問題

仲間とのつながりを失い、孤立していく子どもたちがいる。人が人と出会い、つながり、高め合う、そして、人間の尊厳と、平等で譲ることのできない権利とを承認する、人権文化に根ざす教育と社会とが求められている」というくだりがありました。子どもたちの生活や学習権が侵害されている現実があり、その背景には、家庭がおかれている労働や生活の厳しい現実がありま

点などが言われました。

19日には、市内各所で行われた分科会でのうち、「保育所・幼稚園・地域・小学校・中学校の連携」というテーマの分科会に参加しました。

その中では、兵庫県連の方からこんな報告がありました。ある母親が、子どもに被差別部落出身である事を成長の成り行きで言う事にしていたそうです。しかし、ある講演会で、講師に「差別受ける人は、あんなやないで。直接傷つけられるんは、あんなの大切な子どもや。成人するまでムラの子だと知らされず大き

す。それらをしっかりとらえ、事実と向き合う中から教育課題を明らかにした確かな実践を積み重ねていかななくてはならないと、強く感じることもできました。

今まさに、全同教が大切にしてきた「差別の現実から深く学ぶ」ことが求められているのではないのでしょうか。

くなって闘う力を何ひとつ付けてへん子が何人も命を絶つた例があるんやで。子どもにとつて、知るのは1日でも早いほうがええで。知る時期が遅ければ延びるほど苦しむで。親であつても守りきることできへんねん。自分で闘うしかないねん。」と言われたそうです。母親はどんなときでも「守つてあげる」と思っていました。しかし、親元を離れたらどうすることもできなことを知ったそうです。

今回、いくつか資料などを見て調べた自分の感想ですが、部落差別とは、歴史が残した一種の負の遺産なのではないでしょうか。

また、差別とは、みんなが一生付き合つていかなければならない課題だと思います。

人権作文 出 会 い

日野中学校 3年 西村 美香

私には、今すごく不安な事があります。それは、今現在の事ではなくて将来の事です。私が住んでいる所は、のどかで近所付き合いいもよく、みんなが仲良くとても良い所です。でも、ここは昔から差別されている地域です。ここは被差別部落です。私は、こんなに良い所がなぜ差別されてきているのか分かりません。

最初に言った、私が将来不安な事とは、結婚差別です。もう来年になれば十六才。結婚ができる年になるのです。今までに私は、いろいろな人に結婚差別の話を聞いてきました。小さいころは、実感がなかったけれども今はすごく気になって不安です。被差別部落だから、と、将来結婚できなかつたらどうしよう。私が好きになつた人に、被差別部落出身だからと結婚できなくなつたら、私は考えただけでも辛くなります。被差別部落の人が何をしたのでしよう。個人的なうらみなどがあるわけではない。なのになんで、とすごく腹が立ちます。それに、不安でいっぱいです。

私自身も不安だし、何より家族を見てみるとよく不安になることがあります。私には兄が二人います。一番上は、よく家に彼女をつれて帰ってきます。仲の良さそうな姿も見

し、私も仲良くさせてもらっています。そんな楽しい時間をすごしている時に、ふっと思うことがあります。それは、ここが被差別部落だと知っているのかな？まだ知らなかったとしたら、聞いた時どうなるのかな？相手の親の方はなんて言うのかな？結婚ともなると反対されて別れちゃったりするのかな？と、あげるといっぱいあるけど、こんなに沢山の事が頭をよぎるのです。もし、そんな風になつたら、お兄ちゃんどうするんだろう。って、すごく不安になります。二番目の兄は、今、就職して横浜にいます。このあいだ「オレ新しい彼女できたよ。東京の子」

と、わざわざ幸せそうなメールを送ってきました。私は、うらやましいなー、と思いつつ、お兄ちゃんに彼女ができることは私にとって嬉しいことでした。けれどもそんな時に、東京の子は人権学習をしているのかな？部落差別について知っているのかな？もし、お兄ちゃんが被差別部落出身者って分かつたら、彼女はとうするのかな？お兄ちゃんも被差別部落出身だ、と言つたのかな？またそんな事がいっぱい頭を駆けめぐりました。

でも、なんでこんなに不安になら

なきやいけないだろう。まわりの学校のみんなは、そんな不安もなく将来を夢見ているんだろうな。とうらやましい気持ちになります。でも私は、この地区に生まれた事に誇りを持っています。

昔、この地域の人々は差別から立ち上がり、今の私たちのために暮らしやすい場所にしてくれたからです。だから、私は差別に負けたくはありません。

これから先、私は「出会い」を大切にしていきたいです。今まで人権学習してきた事を糧に、差別と向き合つて将来を歩んでいきます。だから、私の考えを理解してくれるのは勿論ですが、共に差別に立ち向かえたり、互いに支え合える人と出会うのが目標です。その人との出会いは、結婚差別された時に必ず私の力になつてくれると思います。

だから、この出会いをするために私は自分自身の考えをしっかりと見つただけでなく、人の考えを知る事でもっと自分の考えを深めていきたいです。そして、自分の思いをうまく伝えられるようになりたいです。

この作文は、「平成20年度全国中学生人権作文コンテスト鳥取県大会」で、奨励賞に選ばれた作品です。

編・集・後・記

人権啓発講演会での山田修平さんの言葉の中で、一番皆さんの心に残ったのが「心のコップ」だと思います。相手を思いやるには、まず、相手を知ること。相手を知るためには、自分の心を広く持つことだと繰り返し訴える山田さんの言葉に、胸を打たれた人も多いのではないのでしょうか。みんなの心の中に、上向きの大きなコップがいつもあるような社会であってほしいと願っています。

人権のまちひの

2009年3月19日発行

発行：日野町人権・同和教育推進協議会

編集：日野町人権・同和教育推進協議会
広報部会

印刷：富士印刷有限会社

黄砂と健康被害

日野病院、鳥取大学乾燥地研究センター 大谷 眞一しんじ

発生頻度・規模が増大

黄砂は、中央・東アジア内陸部の乾燥地域で上空に巻き上げられた土壌・鉱物粒子が偏西風に乗って東アジアの広範囲に飛来し、大気中に浮遊あるいは降下する現象です。近年、その発生頻度や規模が増大しており、中国では農業生産や生活環境にしばしば重大な被害を与えています。黄砂は、単なる季節的な気象現象から、土地の劣化・砂漠化といった人為的影響による環境問題として認識されるようになってきました。

人体への影響も

黄砂の粒子には石英、長石、

雲母などの鉱物が多く含まれています。土壌由来ではないアンモニウムイオン、硫酸イオン、硝酸イオンなども検出され、飛来する途中で大気汚染物質を取り込んでいる可能性が指摘されています。

また、カビや細菌など生物起原の物質の付着の可能性も考えられており、少量の黄砂でも人体への影響が懸念されます。

韓国や台湾では、心肺疾患患者の症状が悪化するという報告もあり、最近になって、国内でも黄砂と疾病に関する調査が行われるようになってきました。

今のところ、わが国では黄砂による重大な健康被害は報告されていませんが、継続的・

横断的な調査が必要です。

今後の研究に期待

鳥取大学乾燥地研究センターおよび医学部では、国内と並行して黄砂の発生源であるモンゴルや中国において、気象・土壌・住民の健康調査を行い、発生過程から環境、社会、健康への影響など包括的な黄砂研究に取り組んでいます。

国境を超えた問題であるだけに今後の成果が期待されています。



広大なモンゴルの平原

教育委員会からのお知らせ

規則、委員委嘱などについて審議

3月4日に、第3回町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

議案 日野町立小・中学校管理規則の一部改正について
小中学校の夏季休業日(夏休み)の終わりを、8月31日から、8月24日に改正するものです。学習指導要領の改訂により、児童生徒の授業時間を確保します。

議案 日野町立学校学 校薬剤師の委嘱について
根雨小学校の、松浦明美 学校薬剤師の辞職に伴い、4月から、眞壁寿広薬剤師に委嘱するものです。

議案 日野町文化財保護審議会委員の委嘱について
3月31日で任期満了とな
る標記の委員を、平成23年3月31日まで再任することとしました。

議案 日野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の申出について
人権教育推進員、生活相談員の報酬月額の見直しについて、条例の一部改正を町長に申し出るものです。

健闘を祈ります

小中学生、ソフトテニス大会に出場(敬称略)
第20回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(三重県)
出場 後藤直哉(日野中)、吉原毅(日野中)
第8回全国小学生ソフトテニス大会(千葉県)
出場 山本龍星(根雨小)、西村匠平(黒坂小)、
松本美季(根雨小)、山本沙里菜(根雨小)、
小川晴生(根雨小)、名越廉(多里小)

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

ジゲで生涯学習に取り組みませんか

下黒坂で「出前公民館」を開きました

要望に心えて開催

2月8日、下黒坂自治会で開催された講演会に参加しました。

当日は、黒坂警察署の黒バト劇団による、還付金詐欺をテーマにした劇や、町産業振興課による、ごみ減量化についての講演の後、公民館から

は、出前公民館活動の紹介をさせていただきます。

多くの皆さんに、日ごろの公民館活動を知っていただくこと、生涯学習がジゲで開催できることが紹介できたことは、今後の事業開催に、大きなプラスになりました。これからも、ご要望にお応えてまいります。気軽に「ご相談ください。」

参加者からの感想

先月の出前公民館では、黒バト劇団を招き、振り込め詐欺について学びました。テレビや新聞などでよく聞きますけど、実際に劇でされるとお年寄りの人も状況がよく分かり、とてもよい講座でした。またいろいろなことを企画し、みんな学びたいと思いました。

あなたの地域に 公民館が出かけます。

町公民館では、地域の皆さんと学習講座をつくる出前公民館を始めます。町公民館が窓口となって、皆さんに、気軽に学びあうことができる機会を提供します。

出前公民館は・・・

誰でもOK (自治会、老人クラブ、サークル、PTAなど)
どこでもOK (希望する場所で開催)
いつでもOK (希望する日程で開催)
(講師と日程調整を行います。希望日以外になる場合があります。)

活動メニューの例を紹介します。気軽に「ご相談ください。」

出前行政講座

町の仕事、事業内容、各種制度などについて、気軽に楽しく学びましょう

(例)・今年の予算・町の家計簿について

- ・税金の基礎知識
- ・知って安心 介護保険
- ・お父さんの子育て参画についてなど

出前体験講座

色々な体験学習講座を実施。地域で生かすために、一緒に企画しましょう

(例)・じげの食材料理教室

- ・出前映画館
- ・自然観察会
- ・季節の味づくり教室 など

大きな声を出して
元気になりましょう

おしどり学園

2月20日、第11回おしどり学園を開きました。

今回は、黒坂の鳥居敏子さんの指導とピアノ伴奏で、童謡や歌謡曲を歌いました。

最初は、学園生も声があまり出ていませんでしたが、鳥居さんの軽快なトークと歌唱指導により、徐々に声が出るようになりました。学園生もよく知っている「ゆき」や「ふじ山」などを歌って和み、「ああ人生に涙あり」では、体操のように振りをつけて体を動かしました。最後に町民歌「さらりこの町」を歌って終わりました。

歌に笑いに声が出て、来年もしてほしいと、その場で鳥居さんにお願ひしました。



体も動かしてリラックス

イノシシで「じゅっつおう」作ったで 男性の料理教室

3月8日、山村開発センターで、男性の料理教室を開きました。

メイン食材には、今年もイノシシ肉を使い、今回は、中華メニューに挑戦しました。日ごろから料理に親しんでいる参加者は、手際よく材料を切りそろえていきます。

初心者も、講師の飯島好江さんに聞きながら、全員でやることができました。「料理って楽しいもんだな」という言葉が聞けて、きっかけづくりが出来たかな?と思いました。

メニューは、猪肉の酢豚風、猪肉とにんにくの芽の炒め物、健康中華スープを作りました。材料を切って炒め合わせるだけなので、家に帰ってもでき



アドバイスをもらいながら手際よく

るな」といった感想が多かったです。

公民館と一緒に料理教室をしましょう!

この料理教室のメニューは出前公民館でも実施できます。(参加者の感想から)

- ・ 楽しかったこと
- ・ 料理の手順を考えながら手際よく作業を行うことができて楽しかった。料理は段取りだと再確認した
- ・ おしゃべりしながらにぎやかに料理作りを学べたこと
- ・ みんなと和気あいあいとできたこと
- ・ 大量に作る楽しさ
- ・ 皆さんで料理を作ることがとても楽しかったです



栄養満点のメニューが出来上がり

小学校へ 遊びに行っています

～子どもと地域の大人の居場所づくり事業開催中～

「地域の子どもは地域で育てる」。現在、根雨小学校と黒坂小学校に地域の大人が訪問し、子どもたちと遊んでいます。

第1・3水曜日が根雨小、第2・4水曜日が黒坂小です。それぞれ地域の大人が放課後に多目的教室で、こま回しやけん玉などの昔の遊びや、オセロ、折り紙をして過ごしています。とても和やかな雰囲気です。



子どもたちも、この日を楽しみに待っています。多目的教室に来ると、かばんを置くが早い、「おじさん遊ぼう～」と声を掛けてきます。ヨッシャ、ヨッシャとうれしそうにうなずくおじさんたちは、子どもたちから元気ももらっています。

皆さんも、一緒に子どもたちと遊びませんか?お待ちしています。決して教える立場ではありません。「一緒になって遊ぶ」んです。時間は、午後3時から午後4時30分までです。問合せは公民館まで!

～オセロをしている会話より～

子ども「私、強いよ～!いつもお父さんとしてるもん」
大人「ほお～ん、やらあか」
子ども「じゃあ、私は白ね」
大人「バスで帰るだか?バスは何時だ?」
子ども「違う、迎えだもん」
大人「そげあか、ココ置いたぞ」
子ども「へへえ～ん、いっぱい取ったよ～」
などと、会話をしながら遊んでいるのです。

青パト会員募集中

地域の子どもは地域で守っていきましょう
あなたの力が要です

地域防犯・生活安全パトロール協議会(通称青パト)では、子どもたちや高齢者を不審者から守るパトロールに参加していただける会員を募集しています。車で町内を回ってくださる人、下校時に通学路に立ってください。

る人など、活動はさまざまですが、安全・安心な地域づくりという同じ目的を持っています。不審者による事件を未然に防ぎ、全町・各地区で、多くの会員の力で、安全・安心な地域づくりをしようではありませんか。

会員になっていただける人は、協議会事務局(町公民館74 0212)までご連絡ください。



隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



在日朝鮮人の 現状を聞く

隣保館職員研修会

西部地区隣保館の職員研修会が、2月27日に、米子市中央隣保館で開かれました。

研修の内容は、米子市在住の任国主さん（在日朝鮮人総連合会鳥取県本部専任）による、「在日朝鮮人の過去と現在」と題しての講演でした。

任さんは朝鮮人四世で、和歌山県で生まれ、米子市に来ることになったいきさつや、大阪の朝鮮学校に通うようになって、それまで日本びいきだった考え方が朝鮮へと傾いていったこと、また、半年間北朝鮮に滞在したことなど、自分の体験から得たことを話しました。また、「生まれてから32年間日本で暮らしているが、日本の良さをもっと朝鮮の人にも知ってもらい、学んでもらいたい」と語っていました。

年に1回は認知症検査を受けましょう 健康教室「認知症予防」

2月17日、認知症予防についての健康教室が、老人憩の家で行われました。

今回は、町包括支援センター職員による、認知症予防についての話と、簡単な認知症の検査を行いました。

最初に、日常生活などについて、簡単なアンケートに記入したあと、パソコンのタッチパネルで認知症の検査をしました。

次に、支援センターの山形

所長が、認知症について、その症状や原因、予防方法などを話しました。

「認知症には6〜7年の潜伏期間があるので、年に1回くらいは検査を受けたほうが良い」など、誰にでも発症や介護をする立場になる可能性があるだけに、参加者は熱心に聞いていました。

薬の開発研究も進んでいるようですが、生活習慣を今一度見直して予防に心がけ、お

一年間の思い出や抱負を発表 榎の実学習会で閉講式

2月19日、下榎集会所で、榎の実学習会の2008年度閉講式を行いました。

式では、山本教育長と、小中学校の校長先生から、子どもたちに労いと励ましがありました。

子どもたちは、この一年を振り返って、それぞれの思いや来年度に向けての抱負を発表しました。

小学校6年生、中学校3年生は、これまでの思い出や感謝の言葉、後輩たちへのメッセージと、新たな旅立ちに向



子どもたちを激励する山本教育長

けての希望などを作文にして発表しました。最後に隣保館長から、あいさつと、一年間休まず学習会に出席した児童、生徒に表彰状が贈られました。

かしいと思つたら、まず、かかりつけのお医者さんに相談しましょう。



画面に触れるだけで検査ができます

4月の学習講座予定
■編み物 4月11日(土) 午後1時～
老人憩の家 (講師：安達利子さん)
■生け花(草月流) 4月21日(火) 午後7時30分～
下榎集会所 (講師：生田清子さん)
(花代約1500円が必要です)
▼日程など変更になることがあります。詳しくは下榎隣保館へ▼どの講座も2時間の予定です。町民どなたでも参加できますので、お気軽に参加ください



本と親しむ機会づくりを

図書館では、子どもの時から本に親しみ、豊かな感性を育ててもらうため、毎月、ひのっこ保育所と子育て支援室へ、「おはなしの出前」に行っています。昔話や絵本の読みきかせ、わらべうたや紙芝居など、毎

おはなしの出前、好評です

町文化センター・図書館を支えるボランティア

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1484

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

3月のおはなし会のメニュー (0・1・2歳)

- わらべうた「つくしはつんつん」
- 絵本「じどうしゃ」
- 詩「ぼいぼいたいそう」
- うた「チューリップ」
- 絵本「とつとことつとこ」
- かみしばい「おーい、はるだよー」

今回図書館員とボランティアで打ち合わせし、年齢や季節に合った内容を届けるよう心がけています。おはなしを聞いた子どもたちは目を輝かせて、「楽しかったよ。また来てね」と、毎月心待ちにしてくれています。

カレンダー

○印が休館日です

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

ボランティアで参加している生田章男さん(本郷)は、「優れた絵本、質の高い本の持つ力とすばらしさを、改めて感じています。子どもたちの集中した顔と笑顔がすてきです。その場が一体となったときの充実感と、楽しみにして待っている子どもたちが励みです。まちで出会うと、子どもたちが声をかけてくれてうれしいやら恥ずかしいやら」と話しています。



おはなしの楽しさを実感

図書館の展示コーナー

インテリア書道 森田米峯展

4月1日(水)～27日(月)

おはなしボランティア募集中

絵本の読みきかせやおはなしに興味がある人で、おはなしボランティアに参加いただける人を募集しています。また、毎月第4土曜日、午後5時30分から、おはなし(ストーリーテリング)の勉強会を、町図書館で開いています。

問合せ・申込み 町図書館(電話 72 1300)

木のおもちゃづくり

4月19日(日)9:30～12:00
場所:図書館車庫
こいのぼりの組み木やパズルを作ります(要材料費)

図書館おはなし会

4月25日(土)10:00～
場所:図書館絵本コーナー
春の絵本、おはなし、わらべうたなど(参加無料)

サイエンスアカデミー講座

4月25日(土)10:30～
場所:図書館郷土資料コーナー
テーマ:「未定」

第8回日野町民ミュージカル 出演者・スタッフ募集!

4月5日(日)から申込受付開始

公演日:11月22日(日)予定

詳しくは、「広報ひのおしらせ版 4月3日号」に掲載します

おひさまひろば だより



日野町子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、親子で楽しく遊んでいます。毎回ボランティアの皆さんにもお世話になっています。

開設日 毎週水・金曜日 午前9時～午前11時
金曜日は、参加者が親子で自由に利用いただける日です。(お茶は各自で用意してください)

4月の開催日

- 10日(金) = ボランティアさん顔合わせ会(9:00～)
- 15日(水) = おもちゃ遊び
- 17日(金) = 子ども用品リサイクルデー
- 22日(水) = 町図書館からのおはなし会(9:45～)
- 24日(金) = 子ども用品リサイクルデー

平成21年度から2年間お世話になる、子育て支援室運営調整会議委員の皆さんは、5月号で紹介します

平成19年度から2年間、10人の子育て支援室運営調整会議委員の皆さん、そして今年度は40人のボランティアの皆さんの温かい協力をいただき、おひさまひろばの子どもたちも、安心して遊ぶことができました。

また、子育ての先輩としてたくさんのアドバイスもいただき、お母さんたちを優しく支えてくださいました。ありがとうございました。

今年度におひさまひろばで一緒に遊んだ友達が保育所に入所して寂しいですが、また新たに友達を迎え、かわりが広がることに、期待で心が弾みます。皆さん、お友達を誘って遊びに来てください。お待ちしております。

子ども用品リサイクルデーはじめました
毎週金曜日は、子ども用品の提供交換をします。小さくなった靴・服・帽子などはありませんか。使わなくなったおもちゃも大歓迎です。

平成21年度のボランティアを募集
おひさまひろばの子どもたちといっしょに遊んだり、お母さんたちと子育てについておしゃべりしませんか。お申込みは健康福祉課 滝田まで。

連絡先 ひのっこ保育所(電話 72 0238)
役場健康福祉課(電話 72 0334)

町営バスダイヤを変更します

4月1日から、町営バスの運行ダイヤを、次のとおり変更します

4月から9月末までの間、菅福線 生山駅行き最終便を根雨駅発午後6時45分に、根雨駅行き最終便を生山駅発午後7時20分に変更します

板井原・真住線の、横路地内の停車順を変更します

根雨宿・病院線、板井原・真住線、奥渡線のダイヤを一部変更します

各バス停の通過時間などは、3月19日配布の、町営バス時刻表で確認いただき、乗り間違えないようご注意ください

問合せ 役場企画政策課(電話 72 0332)

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

終ひ湯を椿浮かべて愉しめり (講師)谷 悦子
布施握り寒念佛の鈴音待つ 安達つる系
野佛を囲める如し下萌ゆる 荒木 習子
春つらら初孫あやし娘笑む 梅林 春子
日もすがら雪解零の南窓 勝瀬 京子
春近し好きな和菓子にお茶点てて 川上 文子
雪解川鴛鴦の水辺の膨れおり 久城 霞溪
春を呼ぶ托鉢僧の鈴さやか 徳本千鶴子
大師像湖見つめつゝ春を待つ 真壁富貴枝

(五十音順)

編集後記

今月の表紙になった「ピーかぶー」では、劇団風の子九州の皆さんによる、楽しい遊びやお芝居が繰り広げられました。感心したのは、子どもの心をはがっちりつかむ技術。子どもたちは泣き出したりもせず、真っすぐな目で舞台を見つめています。出演者のプロ根性を垣間見たひとときでした。(i)

届出		2月11日～3月10日		敬称略	
おくやみ		ご冥福をお祈りします			
(氏名)	(年齢)	(住所)			
小早川 光子	68歳	黒坂	稲田 正孝	67歳	黒坂
柴田 きみよ	98歳	本郷	増原 公子	82歳	根雨
長尾 喜三雄	83歳	野田	稲田 章	71歳	中菅
柴田 岩雄	93歳	三土	横田 勝幸	60歳	黒坂

3月1日現在

わたしの町

(前月比)

人口	3,998人(-17)
男性	1,875人(-7)
女性	2,123人(-10)
世帯	1,533戸(-2)

4月 ぐらしのカレンダー

APRIL (卯月)

1 水	不燃ごみの収集日 (全町)
2 木	
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	健康相談 町公民館 午前9時~午前10時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時~午後3時
7 火	法律相談 開発センター 午後1時~午後3時 申込み: 町社会福祉協議会 (74-0338) 4月3日〆切
8 水	行政相談 開発センター 午前9時~正午 ----- 資源ごみの収集日 (全町)
9 木	
10 金	使用済み天ぷら油の収集日
11 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後1時~
12 日	
13 月	乳幼児相談 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分 ----- 犬の登録・狂犬病予防接種 (集合注射) (6ページをご覧ください)
14 火	犬の登録・狂犬病予防接種 (集合注射) (6ページをご覧ください)
15 水	古紙の収集日 (全町) ----- 犬の登録・狂犬病予防接種 (集合注射) (6ページをご覧ください)
16 木	
17 金	

18 土	
19 日	第26回県カヌー選手権大会 カヌーの里特設コース (下榎) 午前9時~
20 月	
21 火	1歳6か月児、2歳児健診 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分 ----- 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分~
22 水	軟質プラスチック、発泡スチロール、衣類・ 布団の収集日 (全町)
23 木	
24 金	使用済み乾電池、蛍光管の収集日 (全町)
25 土	
26 日	
27 月	
28 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分
29 水	昭和の日 ----- 宝仏山登山道開き 集合 = 町歴史民俗資料館前 午前8時30分~
30 木	軽自動車税の納期限日

ミニギャラリー情報 (町内の展示コーナーを紹介します)

山陰合同銀行根雨支店
「昔なつかし写真展」4月6日~5月8日まで

蔵美術館
「岡野三郎油絵展『春の大山』」4月1日~30日まで

県西部地震展示交流センター
「能登半島地震から2年 復興~被災体験をつなぐ取
り組み」4月7日~5月28日まで

直通電話	総務課	72 0331	企画政策課	72 0332	住民課	72 0333	出納室	72 2105
	健康福祉課	72 0334	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	町公民館	74 0212
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
	学校給食センター	72 1167	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331							

町長の定期便

第36回

定額給付金でまちの活性化を

三寒四温で、春がやってくるのを肌で感じています。厳しくなっている日本の経済も、早く底を打ち、少しずつでも回復の兆しが出ることを強く願っているところです。

さて、混沌とする国会では、2008年度二次補正予算に盛り込まれた、定額給付金などの財源法案が、3月4日に難産の末、成立したところです。

これを受け、日野町も、定額給付金と、子育て応援特別手当の支給申請受付事務を、6日から始めました。

政府は、低迷する日本経済に活力を与えようとするものですから、町としては、なるべく早く町民の皆さんの手元に届くよう努めているところで、3月末には、指定された口座に振込みできるよう、作業を進めています。

そこで、私からのお願いです。支給されるお金は、なるべく町内での買い物などに使っていただきたいのです。今回支払われる総額は、日野町で約7000万円となります。これが町内で流通しますと、大きな効果が見込まれます。以前にも申しましたが、自分たちのまちは、みんなで盛り上げなくてはなりません。1月には町内のスーパーの閉店、2月には工場の閉鎖予定の話もあり、どの職種も苦しい状況となっています。とても悲しいことです。世界の不況の影響がこの町にも及んでいるのです。

今こそ、みんなで助け合い、知恵を出し合い、厳しい状況を乗り切るつてはありませんか。

ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(3月7日記)

日野町長 景山 享弘

町食生活改善推進協議会さん料理 ⑥1 オススメ

ヘルシーな豆腐ステーキ
具たくさんでお腹も満足

豆腐のステーキきのこあんかけ

【材料】2人分

- 木綿豆腐 (200g)
- 小麦粉 (小さじ2.7)
- サラダ油 (小さじ2)
- えび (40g)
- 生しいたけ (50g)
- しめじ (50g)
- 青ねぎ (10g)
- だし汁 (2/3カップ)
- A【しょうゆ (小さじ2)、みりん (小さじ2)】
- 片栗粉 (小さじ2/3)
- おろししょうが (1かけ分)

【作り方】

- ①豆腐は水気を切り、4つに切って小麦粉をまぶす
 - ②フライパンにサラダ油を熱し、①を入れて色よく両面を焼く
- えびは背わたと殻を取り、2~3つに切る
しいたけはそぎ切り、しめじは小房に分ける
だし汁を温め、③、④を入れて煮立ったらAで味を調べ、2~3分煮て水溶性片栗粉でとろみをつけ、青ねぎを加える。器に豆腐を盛って、あんをかけておろししょうがを添える



『ありがとう・穏やかな午後』
撮影 岡本勝美さん(貝原)

オシドリ

VOL. 133

旅立ち間近

「いつごろ北へ行くの?」

「4月1日、町長さんから辞令をもらってから北へ行くの」

「へえ!???」

「だって日野鳥民だもん」

「ふーん」

そんな冗談が行き交う観察小屋。

1000羽のオシドリが準備をしています。おかげで北帰行の時期になりました。無事を祈ってやってください。

【連絡先】

オシドリグループ事務局
森田(電話)72 0271)